

受賞・表彰

2022年7月20日

国際関係学部国際学科の平井芽阿里准教授が2022年度伊藤早苗賞（若手女性研究部門）を受賞しました

平井芽阿里先生、受賞おめでとうございます！

伊藤早苗賞とは

九州大学副学長で本学客員教授でもあった故伊藤早苗先生は生前、若手女性研究者の育成に尽力されていました。女性研究者のますますの活躍を強く望んでおられた伊藤早苗先生が2019年に67歳で逝去され、そのご遺志を受けてご主人である伊藤公孝特任教授から本学に多大なるご寄付をいただきました。

本学では優秀な女性研究者の育成に多大な貢献をされた故伊藤早苗客員教授の業績を顕彰するために「伊藤早苗賞」を創設しました。優れた研究業績を上げた若手女性研究者および女子大学院生を表彰することにより、多くの若手女性研究者の励みとし、研究意欲を一層高め、将来の学術研究を担う優秀な女性研究者の育成に資することを目的としています。

中部大学通信「ウプト」219号より引用

受賞された研究テーマ「現代沖縄のシャーマニズム再考 学校のフォークロア」につきましては、以下のボタンより研究紹介などを納めた動画をご覧ください。

第2回伊藤早苗賞表彰式を開催（報告）

平井先生からの受賞にあたってのコメント

この度は伊藤早苗賞を授与いただき、身に余る光栄に存じます。恩師である小島亮先生をはじめとし、ご指導くださった先生方、調査先でご協力いただいた皆様にご心より深く御礼申し上げます。そして仕事と育児という綱渡りの中で研究を続けることができるのは、常日頃サポートしてくださる国際関係学部の先生方と事務室の皆様、家族のお陰です。感謝に堪えません。これを励みに今後も精進してまいります。

今回の賞は、2020年に創元社から上梓した『ユタの境界を生きる人々 現代沖縄のシャーマニズムを再考する』と、JSPS科研費JP20K01227の助成を受けた「学校のフォークロア―伝承母題の再構築と地域学校融合型社会に関する人類学的考察―」が対象となりました。

※ JSPS科研費とは？
日本学術振興会（Japan Society for the Promotion of Science）が実施している科学研究費助成事業で、独創的・先駆的な研究に対する助成を行うもの。

平井芽阿里准教授

教員（研究室）紹介ページ

※ 国際関係学部の教員（研究室）紹介ページです。

2022年7月20に行われた表彰式の様子



前列右から2番目が平井准教授

平井准教授の今後ますますの活躍をお楽しみに！

Share:

お知らせ 国際関係学部国際学科の平井芽阿里准教授が2022年度伊藤早苗賞（若手女性研究部門）を受賞しました

- お知らせ

学生生活

入試情報
- イベント

Chubuly Style

留学・国際交流
- 中部大学について

就職・キャリア

地域連携・生涯学習
- 学部・大学院

研究

教員情報